



da Vinci Xi によるロボット支援
内視鏡下前立腺摘除術

※ 1 da Vinci Xi によるロボット支援

内視鏡下前立腺摘除術

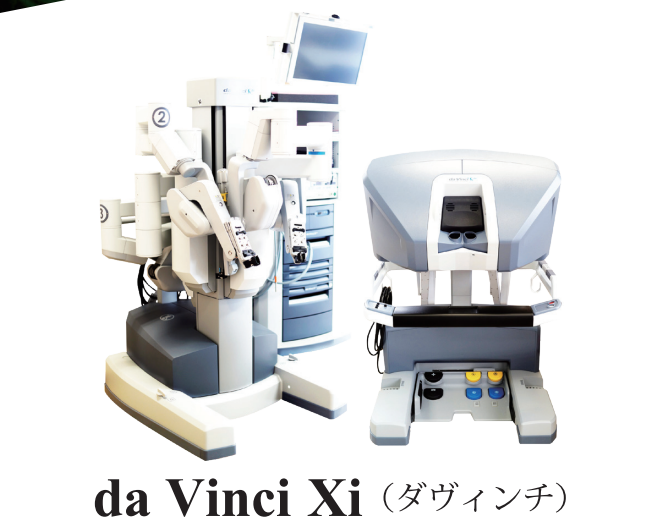
2013 年の導入後 5 年弱で約 300 人の方に手術を受けていただきました。北は山形県から南は三重県までの患者様の治療実績があります。当院では日本に初めて da Vinci Xi の前立腺癌手術を確立させた東京医科大学の術式を受け継いでいます。当院ではほぼ全員の患者様が合併症なく周術期を過ごされており、現時点まで、自己血以上の輸血が必要となった出血はありません。失禁に関しては術後半年後には、ほぼ 90%以上の患者様が尿取りパッドなしに、安全用の 1 日 1 枚程度まで改善しています。

※ 2 トモセラピー

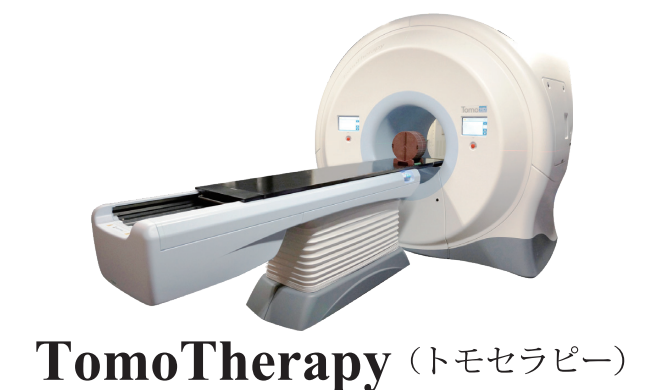
当院は日本では単独施設では最も多い 3 台のトモセラピーを稼働させています。2007 年の導入後、現在までに 1800 名以上前立腺癌患者様が治療を受けています。当院の特徴の一つに、夜間にも治療にあたっている点があり、仕事を休まず治療を受けることも可能です。

※ 3 MRI 超音波フュージョン画像 針生検

MRI フュージョン画像は、MRI 画像とエコー画像を融合させた機器です。前立腺がんの生検時に、患部組織を確実に採取することができ、生検の陽性率はアトランダムの場合が 20~30%なのに対し、約 80~100%と画期的な変化をもたらしました。この結果、前立腺のどこにどれだけの腫瘍があるのかが分かるようになってきた為、早期がんはフォーカルセラピー（局所治療）が可能となりました。



da Vinci Xi (ダヴィンチ)



TomoTherapy (トモセラピー)



MRI fusion biopsy

(フュージョンバイオプシー)

ACCESS

[バス] JR 小岩駅南口②番乗場 7 2 系統バス 約 8 分 江戸川病院下車
[徒歩] JR 小岩駅 約 16 分、京成江戸川駅 約 14 分



ご予約・お問い合わせ

TEL. 0120-518-120 FAX. 03-3657-0758

8:40 ~ 17:10 (地域連携室)

江戸川病院
メディカルプラザ江戸川

〒133-0052 東京都江戸川区東小岩 2-24-18
〒133-0052 東京都江戸川区東小岩 2-6-1



Edogawa Hospital

江戸川病院 泌尿器科

THE UROLOGY EDOGAWA HOSPITAL

江戸川病院 泌尿器科 ご案内

江戸川病院泌尿器科では副腎、腎、尿管、膀胱、尿道などの尿路系臓器、前立腺、精巣、精管、陰茎などの男性生殖器系臓器に関する疾患の全般的診療を行っています。5人の常勤泌尿器科医が従事しており、うち4人が泌尿器科専門医・指導医です。月曜日から金曜日までの午前・午後および土曜日の午前中に外来診療をメディカルプラザ江戸川で行っております。

＜悪性腫瘍＞

前立腺癌 限局性前立腺癌に対しては積極的監視療法、da Vinci Xi を用いたロボット支援内視鏡下前立腺摘除術※1や強度変調放射線治療の高性能版であるトモセラピー※2を行っています。進行例、転移例、再発例に関しては内分泌療法を行っています。去勢抵抗性前立腺癌に対しては新規内分泌療法薬による治療、さらにはドセタキセル、カバジタキセルといった抗癌剤やラジウム223を用いた治療も行っています。当院ではPSA異常のスクリーニングから、緩和医療まで、すべての段階の診断・治療に関して、最新かつ最善の診療を受けることが可能です。2018年8月からは、MRI超音波フュージョン画像※3を用いた前立腺生検をいち早く導入しています。

腎細胞癌 手術治療、薬物療法を行っています。手術に関しては可能な限り腹腔鏡下手術や腎部分切除を選択し、より侵襲の少ない治療を目指しています。転移症例や切除不能な症例に関しては分子標的薬の中から症例に合わせて適切な薬剤を選択し、副作用少なく最大限の治療効果が得られるように努めています。

腎盂癌 尿管癌 腹腔鏡下腎・尿管全摘術を積極的に行い、進行例や再発症例には抗癌剤治療を行っています。

膀胱癌 表在性膀胱腫瘍に対しては経尿道的膀胱腫瘍切除術を行い、多発例、再発例、粘膜下腫瘍に対しては膀胱内BCG注入療法を追加しています。浸潤性膀胱癌に対しては、術前補助化学療法後の膀胱全摘術や放射線治療を行っています。膀胱全摘後の尿路変向術に関しては回腸導管造設術だけでなく、症例を選んで新膀胱造設術を行い、治療後のQOLの確保に最大限努めています。

他、副腎腫瘍、精巣腫瘍、陰茎癌の診療にもあたっています。

＜良性疾患＞

前立腺肥大症 軽症例にはαブロッカー、ホスホジエステラーゼ5（PDE5）阻害薬、5α還元酵素阻害薬を単独、または併用して治療にあたっています。重症例に対しては経尿道的前立腺切除術や尿道ステント（メモカス）留置を行ったりしています。手術不能例に対してはバルーンカテーテルの継続留置・定期交換を行っています。

尿路結石症 体外衝撃波尿路碎石術の他、硬性尿管鏡・軟性尿管鏡を駆使してレーザーで碎石する経尿道的尿路碎石術や経皮的腎碎石術を組み合わせる治療にあたっています。

PSA高値は是非当科にご紹介を

泌尿器科主任部長兼透析センター長兼移植再生医療センター長

泌尿器科医

古賀 祥嗣

こがしろうじ

日本泌尿器科学会専門医・指導医
日本透析学会専門医・指導医
日本臨床腎移植学会腎移植認定医
日本移植学会専門医
医学博士

■専門分野
泌尿器科悪性腫瘍 透析 腎移植

1989 産業医科大学卒業
1989 東京女子医大腎臓病総合医療センター入局
1995 東京女子医大泌尿器科助手
1996 米国オハイオ州クリーブランドクリニックに移植医療のための留学
1999 東京女子医大 泌尿器科 助手
2003 東京医科大学泌尿器科講師
2009 江戸川病院 泌尿器科

泌尿器科医長兼透析センター医長兼移植再生医療センター医長

泌尿器科医

佃 文夫

つくだ ふみお

日本泌尿器科学会専門医・指導医
日本臨床腎移植学会
腎移植認定医
医学博士

■専門分野
前立腺肥大症 尿路結石 膀胱癌

1994 香川医科大学卒業
1998 香川医科大学大学院医学研究科博士課程修了
1998 香川医科大学医学部付属病院助手
1998 水島協同病院泌尿器科医長
1999 香川医科大学医学部付属病院助手
2000 東京女子医大腎臓病総合センター泌尿器科助手
2001 香川医科大学医学部付属病院助手
2006 労働者健康福祉機構 愛媛労災病院泌尿器科副部長
2007 労働者健康福祉機構 愛媛労災病院泌尿器科部長
2010 兵庫医科大学医学部泌尿器科講師
2011 医療法人 聖峰会 田主丸中央病院泌尿器科医長
2013 江戸川病院 泌尿器科

泌尿器科医長兼透析センター医師兼移植再生医療センター医師

泌尿器科医

坂本 昇

さかもと のぼる

日本泌尿器科学会専門医・指導医
臨床研修指導医

■専門分野
泌尿器科悪性腫瘍（前立腺癌など）
da Vinci 手術

1999 慶應義塾大学医学部卒業
1999 慶應義塾大学病理学教室（秦教授）
2000 東京女子医科大学 腎臓病総合医療センター泌尿器科 研修医（東間教授）
2001 川島病院（徳島県）泌尿器科
2001 東京女子医科大学 第二病院（現 東京女子医大東医療センター）泌尿器科
2002 佼成病院 外科
2003 東京医科大学病院 泌尿器科（橘教授）
2008 フロリダ大学泌尿器科留学（前立腺癌の基礎研究）
2009 東京医科大学茨城医療センター 泌尿器科
2013 江戸川病院 泌尿器科

泌尿器科兼透析センター医師

泌尿器科医

堀口 裕

ほりぐち ゆたか

日本泌尿器科学会（専門医・指導医）
米国泌尿器科学会
米国放射線腫瘍学会
日本透析医学会
日本抗加齢医学会

■専門分野
泌尿器科悪性腫瘍、泌尿器科一般、透析

1989 慶應義塾大学医学部卒業
1989 慶應義塾大学医学部泌尿器科学教室
1995 慶應義塾大学医学部助手（泌尿器科学）
1996 米国メモリアル・スローン・ケタリング癌センター留学
1998 米国クリーブランド・クリニック留学
2004 慶應義塾大学医学部講師（泌尿器科学）
2005 防衛医科大学校講師（泌尿器科学）
2006 東京医科大学講師（泌尿器科学）
2012 東京医科大学准教授（泌尿器科学）
2016 江戸川病院泌尿器科

泌尿器科兼透析センター医師兼移植再生医療センター医師

泌尿器科医

緒方 彩人

おがた あやと

日本泌尿器科学会
日本透析医学会
日本腹膜透析学会
日本抗加齢医学会
日本再生医療学会
GID学会

■専門分野
泌尿器科一般

2012 宮崎大学医学部医学科卒業
2013 江戸川病院 初期研修医
2015 江戸川病院 泌尿器科

腹膜透析 (Peritoneal Dialysis) 導入もご相談下さい

腹膜透析とは、体の腹膜を利用して透析を行う方法です。腹膜透析は、毎日透析を行うので腎臓の働きに近い安定した透析療法です。患者さん自身が実施できるので、在宅治療として普及しています。主治医や看護師さんと相談の上、ご自分の生活スタイルに合わせることが出来ます。新規PD導入28名(全国2位/2018年)の実績があります。